

サッカーの第103回全国高校選手権県大会は3日、北条スポーツセンターで準決勝2試合を行った。松山北が2連覇を狙った第3シードの今治東を1

—0で破り、2016年以来の決勝に進出。第4シードの新田は松山学院を3—0で下し、4年ぶりの頂点へあと一つに迫った。

松山北は互いに無得点のまま迎えた後半31分、河窪が直千金のゴールを決めた。新田は後半に木原の先制弾など3点を奪って快勝した。

決勝は10日正午からニンジニアスタジアムで実施する。

県高校サッカー準決勝

【新田一松山学院】後半38分、新田・大石(7)がゴールを決め2—0とする=北条スポーツセンター



【松山北一今治東】後半31分、松山北・河窪(9)が先制ゴールを決め喜ぶ選手ら=北条スポーツセンター



新田 松山学院に3—0

▽得点者【新】木原、大石、石橋
△準決勝
新田 3 (3-0) 0 松山学院
△得点者【新】木原、大石、石橋

2年生主将の松山北は、前年王者・今治東から終盤に奪った1点を死守。準々決勝に続くシード校の撃破に選手たちは雄たけびを上げた。8年ぶりの決勝を引き寄せたのは忍耐の守り。前半から攻勢にさ

ペース握り攻撃衰えず

新田が築き上げてきたり攻撃サッカーを4強の舞台でもいかんなく發揮。後半のゴールラッシュに、田主松主将は「難しい状況もあつたけど、チームで共通意識をもつてプレーできた」と冷静だった。ただ、新田は「難しい状況もあつた」と冷感だった。学院の出足の鋭さに手を焼いた。ただ、新田

G K 堀川(新田)
榆井(松葉加賀伸中督)
村井(新田)
奥白永吉(山清仲加木
山原好本藤山程尾原5387)
合田(山内)
石井(石橋平尾)
▲交代(松學)
原義農(中尾宇都宮倫理)
学園の仲間

△準決勝
新田 3 (3-0) 0 松山学院
△得点者【新】木原、大石、石橋

は落ち着いてボールをつなぎ、前半の途中からペースをつかむ。何度も敵陣に攻め込

み、あとはゴールを決めるだけという流れで、均衡を破ったのは後半18分。左サイドからのクロスを木原が頭で合わせた。2試合連続の先制弾に「準々決勝でも同じ形で決めている。(パスか)

来ると信じていた」と

先制奪えていれば1シードを破つて初の4強も敗戦」「前半で(先制点を奪えて)

いれば…。もっとできたら後悔しかない。後輩たちは決める力と球際の強さを、練習力を

△1回戦
松山東 59 (3524)
松山商 26 (1412)
西条 5 (7) 12

学園(愛合
院)・松山北 1

松山北 今治東に1—0

▽得点者【松】河窪
△準決勝
松山北 1 (1-0) 0 今治東
△得点者【松】河窪

唯一の3年生森は「前半終了間際に惜しいシートもあり、絶対に

青いユニホームの旋風が止まらない。1、2年生主将の松山北は、前年王者・今治東から終盤に奪った1点を死守。準々決勝に続くシード校の撃破に選手たちは雄たけびを上げた。

8年ぶりの決勝を引き寄せたのは忍耐の守り。前半から攻勢にさ

△準決勝
本田(松山北)
中光(藤邊水窪)・森(上野西)
市末渡(花澤池本瀬)
SCFGK12

△交代(今治東)
三好(岡田)・小野(山中秀安部)
(河窪)・森(安部)
△准々決勝
薩摩(河窪)
中光(西本菊松高)・森(藤井)
市末渡(藤井)・森(河窪)
SCFGK12

△1点に泣き2連覇な

る」「自分が前半の決定機を決めていれば勝利の立役者は「ここま

うでいるという雰囲気で後半に入れた」
兵頭監督は決勝に向け相手を押し返した。

「(チャンスは)来年もあるではなく、今しかない」森も「決勝負けたら意味がない。いい準備をして臨む」と気合十分だった。

足を動かし、体を張つて相手を押し返した。
唯一の3年生森は「前半終了間際に惜しいシートもあり、絶対に

忍耐の守り 決勝点呼ぶ

うされる中で、全員がいるといけるという雰囲気で後半に入れた」
兵頭監督は決勝に向け相手を押し返した。

「(チャンスは)来年

ある

で、きょうは取るぞと狙つていた」と胸を張つた。

若いチームを率いる
(チャンスは)来年
あるではなく、今し
い準備をして臨む。いい準備をして臨む」と気合十分だった。

松山商など 準々決勝へ

△1回戦
松山商と合同2(松山工・松山東)が初戦を突破した。大会第2日は10日、久万高原町ラグビー場で準々決勝2試合を行う。

△1回戦2試合を実

施。松山商と合同2(松山工・松山東)が初戦を突破した。大会第2日は10日、久万高原町ラグビー場で準々決勝2試合を行う。

△1回戦2試合を実

てたのかなと思う。力不足。今年は県のタイトルが取れず後輩に残せる所としたラグビープリンスリーグ昇格しかない。金力で成し遂げたい」と(清家康尊)

声を弾ませた。
攻撃の勢いは最後まで衰えず、終盤に大石、石橋がゴールネットを

揺らして盤石の試合運

び。優勝した2020

年以來の決勝ヘチームで自信がみなぎる。田主松は「どこかが相手でわらない」と力強く言った。(清家康尊)

石橋がゴルネットを

で、優勝した2020